

《 卒業生は今 》

－ 漁業に就職して感じたこと －

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は902名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.33 Nくん（平成29年3月卒・航海専攻・現30歳） サバ棒受け網漁船

Q. 仕事の内容は？

- * 出港前は船への餌の積込み、漁場では魚船からの餌出しと餌をすり潰す作業を行う。
- * 操業では網をたぐる作業を行う。
- * 水揚げでは、魚の選別作業と魚船に入り魚を拾う作業を行う。
- * 陸上にいる時は、網修理を行う。

Q. 大変なことは？

- * 餌を魚船から出す時は、体力がないと大変である。
- * 作業にスピードが求められること。
- * 漁が休みになるかは、朝にならないと分からないので、予定が立てられない。

Q. 良いこと、楽しいことは？

- * 休日が多いこと。
- * 仕事が終り家に帰るときは達成感がある。

Q. 学園在学中の思い出は？

- * 乗船実習で船酔いしたこと。
- * ロープワークに苦戦したこと。

Q. 学園で学んだ（身に付けた）ことで、現場で役立っていることは？

- * 船酔いしながら、作業した経験をしていたこと。

☆. 在校生へのアドバイス

- * 上半身を鍛えて、重い物を持って、動き続けられる体力を付けておくこと。
- * 仕事を自分から見つけて、積極的に動けるようにする。
- * 眼鏡をつけている人は、コンタクトをすぐにつけられるようにした方がいい。

(平成29年6月22日)